

令和元年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	piRNA 機構の動作原理の統合的理解
研究代表者	塩見 美喜子 (東京大学・大学院理学系研究科 (理学部)・教授)
研究期間	令和元年度～令和5年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、生殖組織特異的にトランスポゾンの転移を抑制する piRNA の生合成・転写制御のメカニズムについて多様な動物種の実験系を用いることにより、普遍的かつ統合的に理解しようとするものである。</p> <p>応募者はすでに長年にわたり当分野を牽引し、オリジナルの株化細胞や因子特異的モノクローナル抗体セットを開発しており、本研究によって、期間内に piRNA 研究をさらなる次元へ展開する可能性が高く、将来の生殖システムの一層の理解と生殖医療の進展につながるものと期待される。</p>